

全国のえびす神社の総本社 商売繁盛も習い事の上達祈願も

毎年1月9日、11日の「十日えびす」には、百万人に及ぶ参拝者で賑わう西宮神社。もともと鳴尾の漁師が御神像を拾い、西のほうへ現在の西宮に遷して祀ったのが起源とされ、西宮神社は漁業の神・えびす信仰の始まったところとされている。この地は西国街道の宿場町として開け、市場も栄えたことから市の神としても崇められ、今では商売繁盛の神様としても篤く信仰されている。本えびす(1月10日)の午前6時に表大門が開かれると同時に参拝者が走り出す「福

人気の「鯛みくじ(300円)」は正月と十日えびすの期間のみ(なくなり次第終了)。



西宮神社

(ニシノミヤジンジャ)
西宮市社家町1-17
境内駐車場あり
(12/31~1/11は利用不可)
☎0798-33-0321
http://nishinomiya-ebisu.com



- 1.表大門(通称赤門)の左右には、門と共に国の重要文化財に指定されている全長247mの大線場が
- 2.百太夫神は人形遣いの祖神でもあり、淡路島の人間浄瑠璃や大阪の文楽の源流になったとも言われている
- 3.本殿は「三連春日造」という珍しい構造で、第一殿(東)にえびす大神(蛭児大神)、第二殿(中)に天照大御神と大国主大神、第三殿(西)に須佐之男大神が祀られている
- 4.“銭が身につくように”と参拝者が賽銭を貼りつける「招福大まぐる」



撰津八幡宮、撰津国石清水八幡宮(せつつのくにい)わしみずはちまんぐう)とも言われ「一国一社」の称号を持つ、国府八幡宮の一つ。創紀は諸説あるが、平安時代後期、平清盛が福原遷都の時、京都石清水八幡宮を勧請して成瀬という旧地名を八幡(やはた)に改めたのが起源とも言われている。祭神は八幡大神、天照大神、春日大神の三柱。古くから「八幡の厄神さん」と呼ばれ、厄除けの信仰でも知られる。1月18日19日は厄除大祭とよばれる厄除祈願の祭りが毎年行われている。

古来の自然を伝える 一国一社の八幡宮



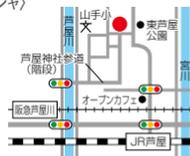
- 1.昭和5年に建て替えられた本殿。意匠に凝らされた造り
- 2.猿丸太夫の墓所にある猿丸神社。芸能や芸事の神様
- 3.古墳の中に祠がある水神社は、芦屋市指定文化財に
- 4.出雲神社は大国主命や天穂日命(あめのひのみこと)の子孫である菅原道真公などが祀られている

二十七の神様が祀られる 信仰を集める芦屋の総鎮守

芦屋の山手にある芦屋神社。天照大神(あまてらすおみかみ)の次男、天穂日命(あめのひのみこと)を主祭神に祀る。天穂日命は、大国主神(おおくにぬし)のかみとの国譲りの際の功績から、縁結びや産業繁栄などの神様として信仰を集めている。明治時代には、芦屋に点在していた神々をすべて合祀し、総鎮守として17柱の神様が祀られた。ほかにも、横穴式石室古墳の中に祠がある水神社や平安時代の歌人である猿丸太夫の墓所など、末社にも10柱の神様が祀られており、健康や芸事などの祈願ができる。

芦屋神社

(アシヤジンジャ)
芦屋市東芦屋町20-3
9時~16時半(授与所)
参拝は自由
P10台有り
☎0797-34-1833
http://www.ashiyajinja.or.jp



- 1.天正年間(1573年-1591年)林播磨という人が建造した厄神宮本殿。兵庫県重要文化財に指定された
- 2.太平記の摩耶城合戦の場面に出てくる「八幡林」は当社の森のこと

六甲八幡神社

(ロッコウヤハタジンジャ)
神戸市灘区八幡町3-6-5
参拝は自由
P有り
☎078-851-7602
http://www.rokko.or.jp



必勝祈願に多くの人が訪れる 八咫鳥がシンボル

伊弉諾尊(いざなぎのみこと)、事解之男命(ことさかのおのみこと)、速玉之男命(はやたまのおのみこと)の熊野三所大神を祀る神社。神功皇后(じんこうこうごう)がこの地で弓矢や甲冑を納めて熊野大神に戦勝を祈念し、叶ったという故事から、背後の山を「弓弦羽岳」「六甲(甲冑)山」と呼ぶようになったそう。八咫鳥が日本サッカー協会と同じシンボルであり、日本初のサッカーチームが近隣の御影師範学校で編成されたことから、境内に御影石のサッカーボールが設置されている。

願い事を書いた紙を入れて祈願する「ゆづ丸くん(800円)」



弓弦羽神社

(ユヅルハジンジャ)
神戸市東灘区御影群家2-9-27
9時~17時(授与所) 参拝は自由
P有り
☎078-851-2800
http://www.yuzuruha-jinja.jp



- 1.サッカーの御守(800円)
- 2.サッカー発祥の地として御影石のサッカーボールが設置され、絵馬が掛けられる。必勝祈願に多くの人が訪れる

恋愛成就の神様として 強力な御神徳が話題

縁結びの神様として名高い。大国様(だいくさま)と慕われる大国主大神(おおくにぬしのおおみこと)、恋愛辯天(れんあいべんてん)こと市杵島比売命(いちきしまひめのみこと)が祀られ、近年では恋愛成就の神社として注目を集めている。源平合戦の際に、平清盛の甥である通盛(とせ)もいと愛妻の小宰相(こさけいしょう)が別れを惜しんだ場所、恋にまつわる言い伝えや民話も多い。また、神社奥には仁徳天皇に氷が献上されたといわれる氷室がある。



- 1.神社のある夢野は昔、高貴な方の墓所や皇室の御料地として殺生禁断の地だったそう
- 2.「愛のポスト」に手紙(一通200円)を投函すると、その願いを叶えてくれるそう。内容は具体的に書くほどよいか
- 3.西暦374年、仁徳天皇へ氷を献上されたといわれている氷室

氷室神社

(ヒムロジンジャ)
神戸市兵庫区氷室町2-15-1
9時~17時(授与所)
参拝は自由
神戸市バス 7系統
石井町から徒歩5分
☎078-531-2833
http://himurojinja.or.jp

